

総合評価の評価方法の 違いによる効果検証

1. 加算方式の試行結果(除算方式との比較)

平成19年度 加算方式の試行結果

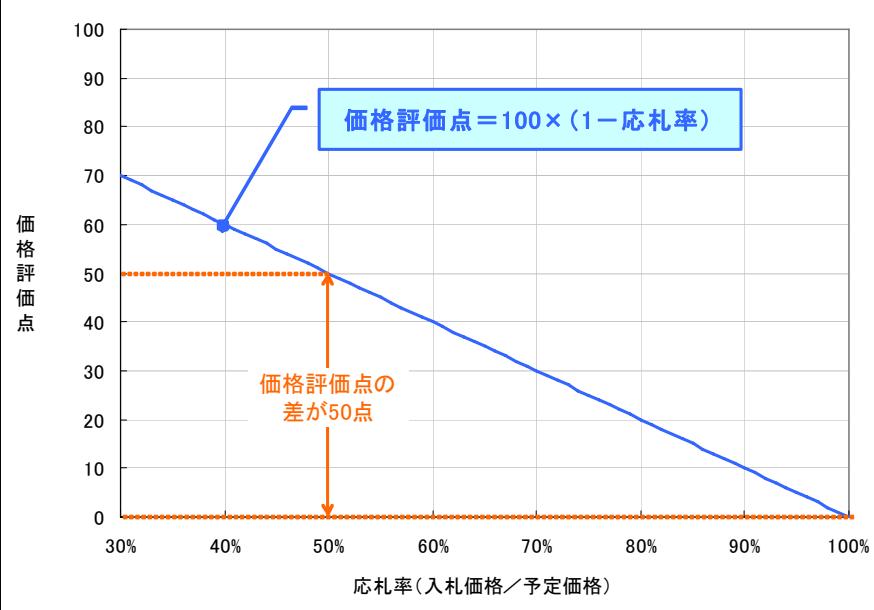
順位	地整名	工事名	工事種別	タイプ	加算比率 (価格 :技術)	施工 体制 確認型	予定価格 (税抜: 千円)	落札価格 (税抜: 千円)	落札率	落札者名	落札者		除算方式(シミュレーション)				
											予定価 格内	価格	技術点	配点	施工体 制確認 型	当該落札者の 順位 (評価値)	
1	四国	平成19年度 東孕ランプ2号橋上部工事	PC	簡易型	1:0.5		184,510	145,000	78.6%	川田建設(株)	12	12	3位	1位	30	○	1位
2	北陸	一般国道289号4号橋梁仮栈橋工事	一般土木	簡易型	1:1	○	188,550	165,000	87.5%	(株)中元組	3	1	1位	1位	50	○	1位
3	北陸	豊津築堤護岸及び樋門新設工事	一般土木	簡易型	1:1	○	97,100	85,000	87.5%	株北條組	5	4	2位	1位	50	○	1位
4	中部	平成19年度 天竜川水系中田切第4砂防堰堤工事	一般土木	簡易型	1:1		562,510	488,000	86.8%	吉川建設(株)	4	3	2位	1位	30	○	2位
5	九州	佐賀497号白石橋下部工(A2)他一連工事	一般土木	簡易型	1:1		94,160	88,800	94.3%	岩崎建設(株)	5	3	1位	1位	30	○	1位
6	九州	熊本3号宮浦3号橋上部工(P4~A2)工事	鋼橋上部	簡易型	1:1	○	141,910	112,500	79.3%	清本鉄工(株)	4	3	1位	1位	40	○	1位
7	九州	茅島地区地盤改良工事	グラウト	簡易型	1:1		56,160	45,900	81.7%	ライト工業(株)	5	5	3位	1位	30	○	2位
8	東北	雄物川上流大曲地区環境整備工事	一般土木	簡易型	1:2		16,000	13,450	84.1%	(株)協和土建	5	2	1位	1位	20	○	1位
9	関東	圈央道川田谷高架橋1下部工事	一般土木	標準型	1:1	○	390,540	375,000	96.0%	(株)新井組	4	4	3位	1位	60	○	1位
10	中部	平成19年度 1号静清賤機山トンネル工事	一般土木	標準型	1:1		1,567,410	1,436,000	91.6%	(株)間組	5	5	5位	1位	50	○	2位
11	中国	広島西部山系上原2号砂防堰堤工事	一般土木	標準型	1:1	○	425,750	375,000	88.1%	肥海建設(株)	3	2	1位	1位	60	○	1位
12	四国	平成19—21年度 つづら川第8橋下部工事	一般土木	標準型	1:1	○	696,010	558,000	80.2%	西松建設(株)	18	18	4位	1位	30	○	1位
13	四国	平成19—21年度 新仁淀川橋上部工事	鋼橋上部	標準型	1:1	○	1,396,780	1,150,000	82.3%	JSTブリッジ・名村造船所特定建設工事JV	11	10	4位	1位	30	○	1位
14	中国	松江道路上竹矢高架橋外PC上部工事	PC	標準型	1:1	○	377,810	300,000	79.4%	(株)ピース三菱	5	5	2位	1位	60	○	1位
15	近畿	紀北東道路丁ノ町地区外改良工事	一般土木	標準型	1:2	○	549,520	530,000	96.4%	(株)ハンシン建設	4	4	3位	1位	40	○	3位
16	中国	松江道路中竹矢高架橋外上部工事	鋼橋上部	標準型	1:2	○	290,360	260,000	89.5%	(株)アルス製作所	2	2	1位	1位	60	○	1位
17	関東	付替県道14号橋上部工事	PC	標準型	1:2	○	650,810	538,000	82.7%	(株)富士ピー・エス	13	13	5位	2位	60	○	1位
18	東北	穀田地区道路改良工事	一般土木	標準型	1:3	○	255,160	225,800	88.5%	(株)佐藤工務店	9	5	4位	1位	45	○	3位
19	四国	平成19—21年度 西谷高架橋工事	一般土木	高度技術提案型	1:1		982,540	980,000	99.7%	三井住友建設(株)	3	2	2位	1位	50		2位
20	九州	嘉瀬川ダム副ダム建設工事	一般土木	高度技術提案型	1:1		1,570,830	1,380,000	87.9%	西松建設(株)	9	7	2位	1位	50		1位

2. 加算方式と除算方式の比較①

- 除算方式は、加算方式と比べて、極端な低入札が、評価値に与える影響が高い。

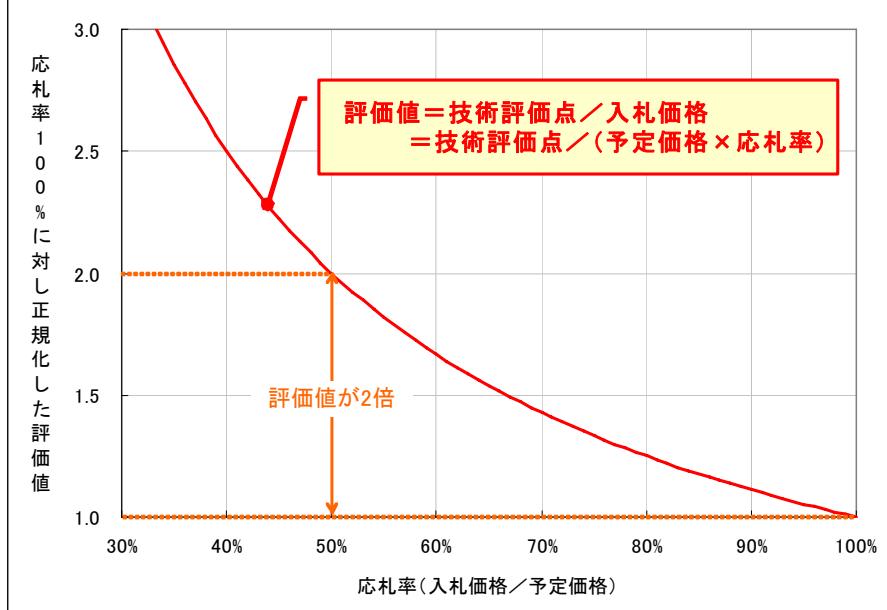
加算方式

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{価格評価点} + \text{技術評価点} \\ &= A \times (1 - \text{入札率}) + B \times \text{得点率} \\ \text{入札率} &= \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \quad \text{得点率} = \frac{\text{得点}}{\text{加算点満点}} \end{aligned}$$



除算方式

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}} \\ &= \frac{100 + \text{加算点満点} \times \text{得点率}}{\text{予定価格} \times \text{入札率}} \end{aligned}$$

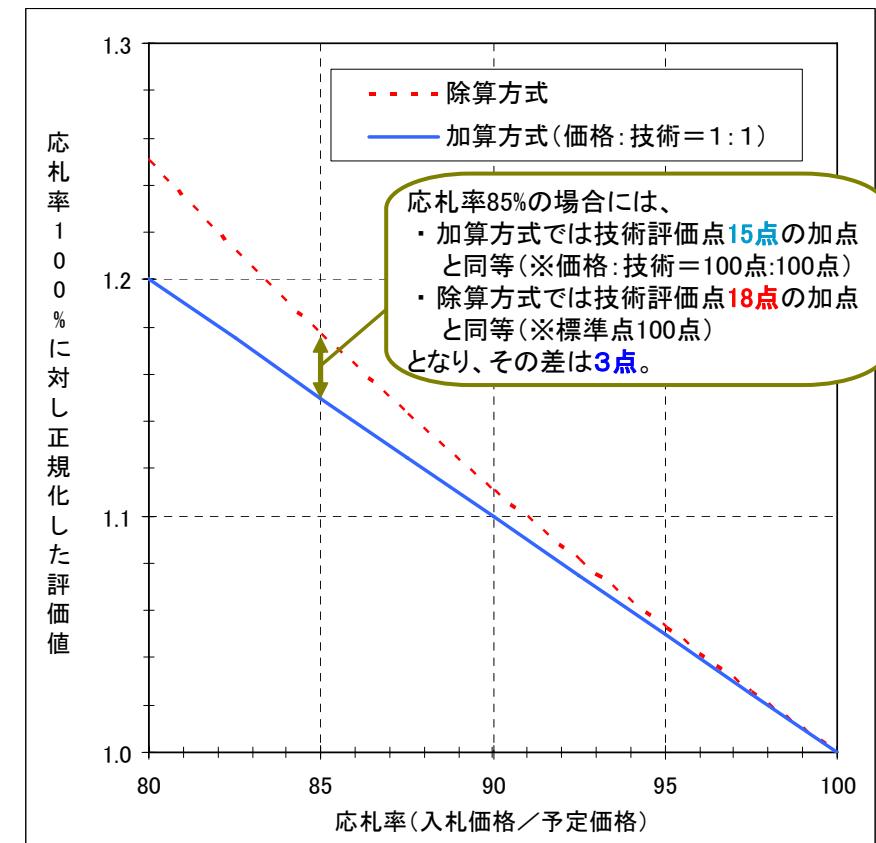
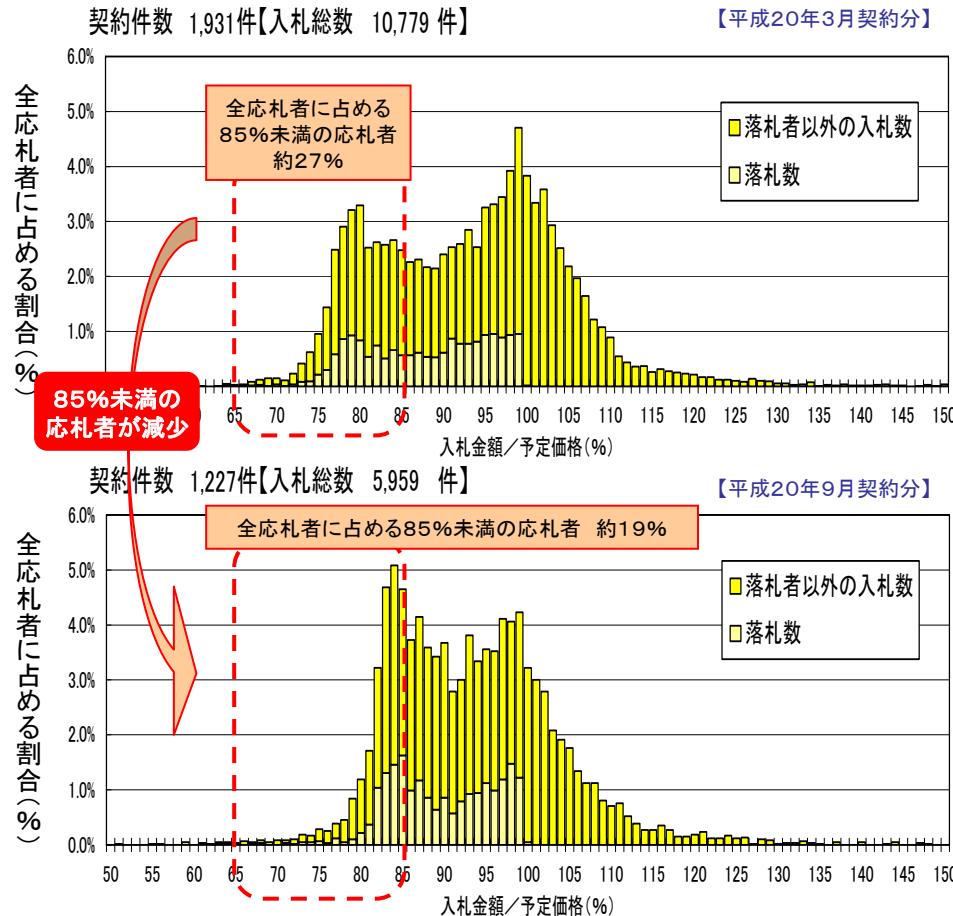


加算方式では、応札率50%の場合には、
技術評価点を50点加点した場合と同等。
(※価格:技術=100点:100点 の場合)

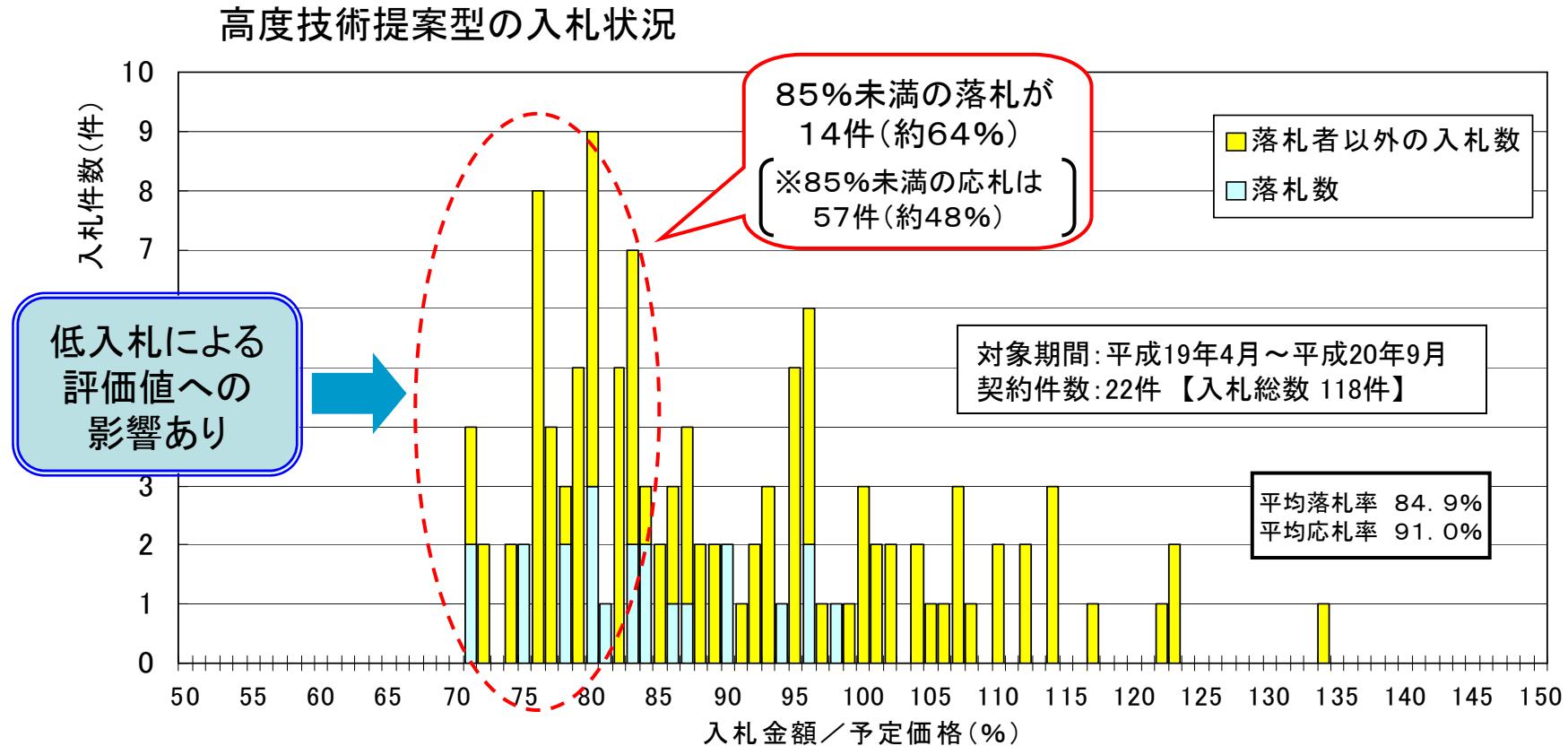
除算方式では、応札率50%の場合には、
技術評価点を2倍に加点した場合と同等。

2. 加算方式と除算方式の比較②

- 施工体制確認型の導入により、実質、落札率が85%未満の応札行動は減少したことから、除算方式においては、極端な低入札が評価値に与える影響は排除されている。



3. 高度技術提案型における課題について



※ 対象は8地方整備局及び北海道開発局、沖縄総合事務局発注工事

➤低入札が品質確保に与える影響を厳格にチェック
技術提案毎に、見積額と応札額の乖離をヒアリング等で厳格にチェックする等の低入札防止対策を試行する。(平成20年度)